EventHub
イベントプラットフォーム
https://x.gd/umekita_2612092

お申込みはこちら！

産総研 AIST SOLUTIONS
AIST GROUP | 産総研グループ

関西センター「研究者と技術を知る」シリーズ 6

「廃棄物」を「資源」に変える新発想

ウレタンを燃やさず分解・回収するイオン液体技術とは？



松本　一

産業技術総合研究所
電池技術研究部門
電池システム研究グループ
上級主任研究員

現地・ハイブリッド
2026.12.9 水
15:00 ▶ 16:30

録画配信
2026.12.15 火
11:00 ▶ 12:00

会場	グラングリーン大阪 北館 JAM BASE 4 階 産総研・関経連うめきたサイト オンラインのハイブリッド形式（ブラウザから視聴可）	定員	50 名（会場）

主な内容

イオン液体を活用したポリウレタンのリサイクル技術と資源循環への展望

カーボンニュートラルの実現に向け、プラスチックや複合材料のリサイクル技術の高度化が求められています。なかでもポリウレタンは幅広い用途で利用される一方、再資源化が難しく、多くが焼却処理されています。

本セミナーでは、産総研 エネルギー・環境領域 電池技術研究部門の松本上級主任研究員より、イオン液体を活用したポリウレタンの分解・回収技術を紹介します。100℃以下の比較的低温でポリウレタンを効率的に処理できる本技術は、イオン液体を容易に分離・回収できるため、省エネルギー化と資源循環の両立が期待されています。

当日は、技術開発の背景や特徴に加え、電池材料製造プロセスへの適用事例やリサイクル技術への展開可能性、社会実装に向けた今後の展望について分かりやすく解説します。

キーワード

＃ポリウレタンリサイクル　＃イオン液体　＃ケミカルリサイクル　＃資源循環　＃サーキュラーエコノミー
＃低温分解　＃廃棄物資源化　＃電池材料　＃省エネルギー　＃カーボンニュートラル

こんな方におすすめ

- **ポリウレタンフォーム、接着剤、塗料等を扱う材料・化学メーカーの方**
- **ウレタン製品のリサイクル**や**再資源化**に課題をお持ちの方
- 製造工程で発生する**廃材・端材**の有効活用を検討している方
- **電池材料・蓄電池リサイクル**に関わる企業の方
- 自動車・建材・家電分野で資源循環を推進している方
- **脱炭素**や**サーキュラーエコノミー**に資する技術を探索している方
- 産総研との共同研究や技術連携に関心のある方



プログラム

15:00　**第３の液体である”イオン液体”の新たな応用 ”高分子の溶解”**

産業技術総合研究所
電池技術研究部門
電池システム研究グループ　上級主任研究員　松本　一

TOPICS

1. ポリウレタンリサイクルの現状と課題
2. 従来技術を上回るイオン液体の高溶解メカニズム
3. 社会実装に向けた展望と共同研究の可能性

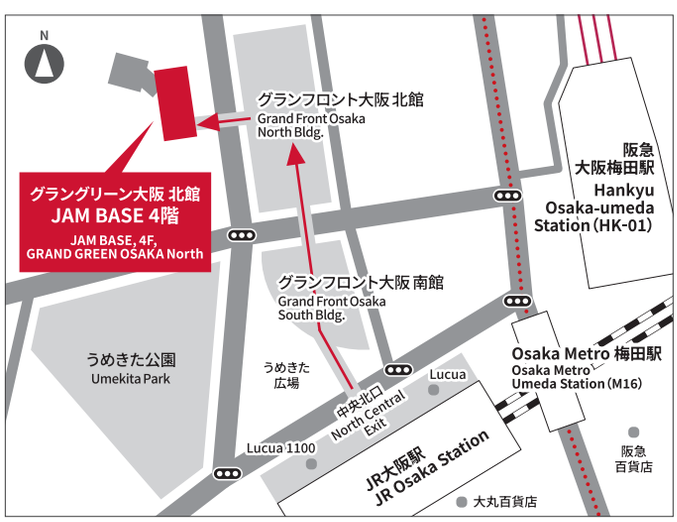
16:00　**ポスターセッション・情報交換会**

アクセス

産総研・関経連うめきたサイト

〒530-0011 大阪市北区大深町 6-38
グラングリーン大阪 北館 JAM BASE 4 階 JAM-OFFICE 4-A

1. JR大阪駅　　中央北口アトリウム広場から、2階連絡デッキで グランフロント大阪　南館を通過し、グランフロント大阪　北館へ進んでください。
2. グランフロント大阪 北館から接続ブリッジでグラングリーン大阪 北館 JAM BASEへ渡ってください。
3. タリーズコーヒー（有隣堂）を抜け、エスカレーター手前、右手のエレベーター4Fへおあがりください。
4. 「Syn-Salon」壁面サインの左手になります。



申込方法

EventHub
イベントプラットフォーム
お申込みはこちら！

https://x.gd/umekita_2612092

※ 申し込み後、当日の案内メールが届かない方は、お手数ですが事務局(M-umekitasite-ml@aist.go.jp)までご連絡ください。

[主催] 国立研究開発法人産業技術総合研究所　関西センター
株式会社 AIST Solutions

[共催] 公益社団法人関西経済連合会